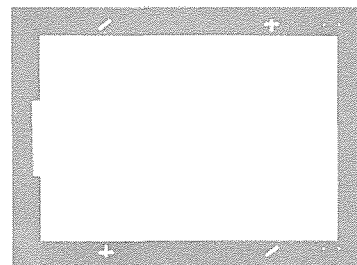




扉付スチール分電盤用埋込枠

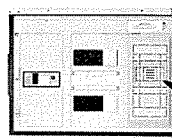
該 当 器 種		標準価格 (円)
●A4Y-G3C ●A4Y-M3C ●A6-LG2C ●A6Y-G3C ●A6Y-M3C ●A4Y-L3C ●A8-G3C ●A8-M3C ●A6Y-L3C ●A4Y-M2C ●A4Y-LG2C		880
●A4Y-G3SP ●A4Y-M3SP ●A4Y-LG3 ●A6-G3SP ●A6-M3SP ●A6-LG3 ●A8Y-G3 ●A8Y-M3 ●A4Y-L3SP ●A10Y-G3 ●A10Y-M3 ●A6-L3SP ●A12-G3 ●A12-M3		880
●A8Y-G3SP ●A8Y-M3SP ●A8Y-LG3 ●A10-G3SP ●A10-M3SP ●A10-LG3 ●A14Y-G3 ●A14Y-M3 ●A8Y-L3SP ●A16-G3 ●A16-M3 ●A10-L3SP		880



扉付スチール分電盤附属機器取付例

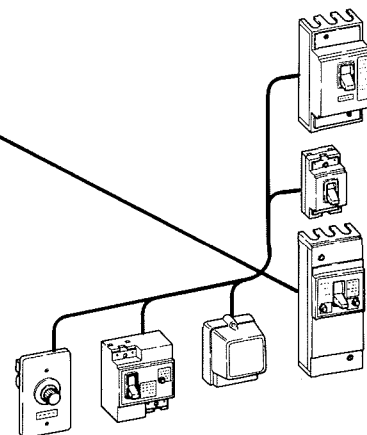
フリースペース付(A4Y-G3SP等)器種のフリースペースには温水器用ブレーカ、漏電しゃ断器、配線用しゃ断器等の増設、プザ、チャイムトランス、タイマーの設置等、広範囲にご利用いただけます。

- 分電盤の通電電流に大きく影響を及ぼすような分岐回路の増設は避けてください。



フリースペースに組込むことができる機器はJWDS0007によりますと

- ①別系統の電源の引込開閉器
- ②分岐開閉器の2次側に設けられる機器
- ③負荷電流が1A以下の小勢力回路を母線に直接接続して設ける機器に限られますのでご注意ください。



銅母線の容量

住宅盤規格による母線最小太さ (1V電線の場合)			(205-11 12-18表) 内線規定による幹線最小太さ (1V電線の場合)		テンバー住宅盤の母線太さ	
住宅盤の 定格電流	主開閉器の 定格電流	断面積 JIS C 8328	最大想定 負荷電流	断面積	IV電流	銅バー
30A	30A	8mm ²	30A	2.6mm ² (径)	8mm ²	12mm ² 注1)
60A	40A	14mm ²	40A	8mm ²	14mm ²	15mm ²
	50A		50A	14mm ²		
	60A		—	—		
100A	75A	38mm ²	75A	22mm ²	38mm ²	30mm ² 注2)
	—		90A	30mm ²		
	100A		100A	38mm ²		

一般に導体の許容電流は、導体を流れる電流の大きさと温度上昇の関係で定められます。

JIS C8328, JWDS0007では、住宅盤に定格電流を規定の方法で通電した時、その温度上昇値の上限が50℃以内になるよう規定されています。

テンバー住宅盤の銅母線は、全ての器種についてこの規格に適合しており日本配線器具工業会の認定試験にも合格しております。

- 注1) テンバー住宅盤の30A定格の分電盤に使用されている銅母線は、住宅・都市整備公団デテールシートに記載された仕様(容量40A)を満足しており、内線規定に定められる最大想定負荷電流40Aにも耐えられる容量をもっております。
- 2) 100Aで30mm²の銅バー母線を使用しておりますが、これはJIS C 8328の6・3-(2)5・1及びJWDS0007の5・7-(3)6・7表14の銅バー使用の規定により30mm²でも問題なく使用できることを弊社が保証いたしております。